



株式会社 アイビー化粧品
第47期 BUSINESS REPORT
2021年4月1日 ~ 2022年3月31日

世界的に脅威をもたらしている新型コロナウイルス感染症や戦争により、人々が生活・生計・健康面において多大なる犠牲を強いられていることを、当社としましても大変憂慮いたしております。一日でも早く、この事態が終息に向かい、人々が健全で、いきいきとした生活を取り戻せることを切に願っております。



代表取締役社長
白銀 浩二

2022年3月期の業績概況

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。創立45周年を迎えた当事業年度においては、シワ改善医薬部外品「アイビーコスモスⅡ ナイトリクルガード」(シワ改善有効成分ナイアシナミド配合)を含む新スキンケアシリーズ「アイビーコスモスⅡ」、メイク製品「アイビー メークアップコレクション フォーチュントゥインクル」、健康食品「インナークリスタル」を発売し、顧客拡大ならびに顧客満足向上に努めてまいりました。

経費につきましては、経費使用方針に基づく予実管理を継続徹底いたしました。また、新株予約権の発行による資本金の調達により、経営安定化推進を図ってまいりました。

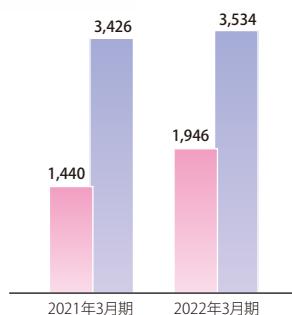
以上の結果、当事業年度の売上高は3,534,133千円(前事業年度比3.1%増)、営業利益は83,280千円(前事業年度24,822千円)、経常利益は81,713千円(前事業年度6,703千円)、当期純利益は税金費用を41,338千円(うち法人税等調整額18,340千円)計上した結果、40,375千円(前事業年度△23,228千円)の増収増益となりました。株主の皆様におかれましては、一層のご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

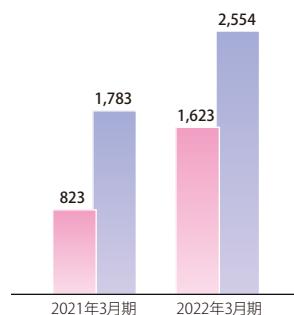
決算ハイライト(非連結)

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位:百万円)

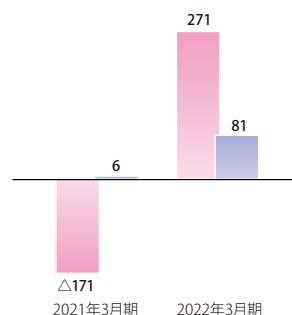
● 売上高
3,534百万円



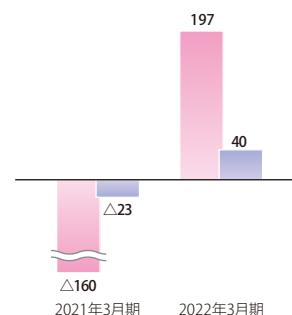
● スキンケア売上高
2,554百万円



● 経常利益
81百万円



● 純利益
40百万円



2022年3月期期首より「収益認識に関する会計基準」を適用しております。また、前事業年度の経営数値については、期首より「収益認識に関する会計基準」を遡及適用した数値です。

当期発売製品

2021年10月発売 アイビーコスモス II

エンリッチ ローション
〈化粧水〉
120mℓ ¥8,250 (本体価格 ¥7,500)
Wエマルジョン クリーム
〈乳液・クリーム〉
30g ¥16,500 (本体価格 ¥15,000)
ナイトリンクルガード【医薬部外品】
〈夜用クリーム〉
15g ¥7,700 (本体価格 ¥7,000)



2022年2月発売 インナークリスタル

120粒 (タブレット/1粒250mg)
¥7,560※ (本体価格 ¥7,000)
1日4粒目安
【栄養機能食品】
(ビタミンC・ビタミンE)



2021年12月発売

アイビー メイクアップコレクション フォーチュントウインクル

¥11,000 (本体価格 ¥10,000)
〈セット内容〉
アイビー ハイライトクリーム PK
アイビー リップオイル PK
アイビー マスカラ RD
アイビー ネイルオイル



今期発売製品

2022年6月発売予定 薬用スカルプケア ステムシグナル〈育毛剤〉 【医薬部外品】

190mℓ ¥5,500 (本体価格 ¥5,000)
〈効能・効果〉
発毛促進、育毛、薄毛、かゆみ、脱毛の予防、
毛生促進、ふけ、病後・産後の脱毛、養毛
有効成分：センブリ抽出液、パントテニルエチルエーテル、
酢酸DL- α -トコフェロール、ニコチン酸アミド、
グリチルリチン酸ジカリウム
有用成分アイビーステムコンプレックス*配合
*保湿成分：チョウジエキス、テンチャエキス、オノニスエキス、
ペニバナエキス(1)、テンニンカ果実エキス、ピワ葉エキス、
ゲンノショウコエキス、ワレモコウエキス、オトギリソウエキス、
シナノキエキス、セイヨウキズタエキス



表示の価格は希望小売価格です。※軽減税率(消費税等8%)適用

開発生産本部 開発研究所に聞く 機能性・ 安全性の追求



開発生産本部 開発研究所 所長
木村吉秀

世界に認められる研究開発を製品づくりにつなげる

開発研究所では、「使って効果分かる安全安心な製品づくり」という思いを大切に製品開発を進めています。化粧品業界の技術進展は目覚ましいものがありますが、当社も5年先、10年先の製品づくりを見据えて、特許出願や学会発表などの研究活動に力を入れています。そして、その研究成果をできるかぎり外部発信するようにしています。販売組織の皆様が対面販売を行うにあたって、ご愛用者様との信頼関係の礎となる有用性・安全性の高い製品づくりを、当社が目指していることを多くの方に知っていただくことが大事だと考えているからです。

化粧品業界内各社によって研究分野はそれぞれ異なりますが、当社は「素肌自然」という開発ポリシーの下、自らの力で本来の肌の状態を保とうとするホメオスタシスの研究に注力しています。高齢社会が進む中で、本物の健康や美を考えていくことがQOL向上の大きな要素のひとつだと考えています。今後、化粧品分野と医療分野のボーダレス化が進んでいき、今まで以上に機能性・安全性が求められる時代になってくるでしょう。その中で、開発研究所では研究員一丸となって世界に認められるような研究開発を行っていき、その研究成果をご愛用者様に信頼して使っていただける製品づくりに注ぎ込んでいきたいと考えています。

どうやったら実現できるかを考えることができるチーム力

当社の開発研究所の強みは、それぞれの研究員が基礎研究から製品開発までの広範囲に亘る仕事を、その先にご愛用者様がいらっしゃることを見据えて取り組むことができる、ということです。ご愛用者様の健康や美を考えていく中で、今すぐ製品に直結することができなくても、5-10年後には必要になるだろうという中長期的な視点での研究を心掛けています。また、学会発表や特許取得などの会社の知的財産を、化粧品業界だけでなくあらゆる業界に対して、いかにアピールしていくかという意識を持って仕事に取り組んでいます。

製品開発には、チーム力が大切ですが、できない理由を考えるのではなくどうやったら実現できるかを考えることができるメンバーに恵まれていると感じています。足りないところはお互いに補い合いながら、また、アイデアを出し合いながら、やみくもに突き進むのではなく、目標・目的のベクトルを合わせて研究員全員で頑張っています。



開発生産本部 開発研究所 次長
新井啓子



開発生産本部 開発研究所 主任研究員
竹入雅敏

ご愛用者様のお声を励みに

新しいことを見つけて製品開発につなげていきたいという強い思いを持ってアイビー化粧品に入社しました。当社は、研究設備も充実しており、大学との共同研究にも積極的に取り組んでいますので、かなり先進的な研究を行うことができます。また大きな特徴として、研究員がご愛用者様のお声を直接聞かせていただけることが挙げられると思います。開発研究の業務には、地道で根気が必要な作業がかなり多いですが、その様なお声に背中を押してもらえるので、とてもありがたいです。現在は基礎研究を進めながら、同時に製品開発にも携わっており、充実感を得ることができています。今後もバランスを取りながら基礎研究や学会発表、特許出願を行っていき、その研究成果を実際の製品に反映させて、会社の売上アップに貢献していきたいと考えています。また将来的には、基礎研究を発展させて、当社が新しい事実を解明し、それを製品に応用していくことができたら本望です。

製品づくりを通じて企業力向上に貢献していきたい

現在、会社や開発研究所が目指す方向性の中で、自分のやりたいと思うことを自由にやらせてもらえる環境に感謝しながら、とても密度が濃い日々を過ごしています。大学時代は疾患に関する研究をしていたので、医薬品分野の仕事にも興味がありました。しかし、より短い研究開発期間で製品を世に出すことができる化粧品の研究を通じて、社会とつながる経験がしたいと考え、当社に入社しました。当社では医薬品開発の基礎研究と何ら変わりのない化粧品開発のための研究を行っており、とてもやりがいを感じています。

昨年初めて論文を1本執筆しましたが、業務を行いながら書き上げることができたのは会社のおかげだと考えています。今後も、研究者の名刺代わりである論文執筆や学会発表を定期的に行っていきたいです。そしてその研究成果を製品づくりの形で、会社に還元して企業力向上に貢献していきたいと思っています。



開発生産本部 開発研究所 上級研究員
常陰幸乃

〈特許取得について〉

当社は、下記の特許を取得いたしました。

特許番号	特許第6981675号
発明の名称	頭皮外用剤と、活性酸素消去作用とカルボニルタンパク生成抑制作用を制御する方法
請求項1	(A)テンニンカ果実の溶媒可溶成分および(B)ビワ葉の溶媒可溶成分を含有する頭皮外用剤であって、前記外用剤中の(A)成分および(B)成分の含有量が0.01～5質量% (固形分換算)であり、前記溶媒が、多価アルコール、メタノール、エタノールおよびそれらと水との混合液から選ばれるものであって、外毛根鞘細胞におけるカルボニルタンパクの生成を抑制することを特徴とする、頭皮外用剤。
請求項2	前記(A)成分と前記(B)成分の合計100質量%中、前記(A)成分の含有割合が10～90質量%であり、前記(B)成分の含有割合が残部割合である、請求項1記載の頭皮外用剤。
請求項3	前記(A)成分と前記(B)成分の合計100質量%中、前記(A)成分の含有割合が10～45質量%または55～90質量%であり、前記(B)成分の含有割合が残部割合である、請求項1記載の頭皮外用剤。
請求項4	さらに、キイチゴ、スギナ、ヨクイニン、スターフルーツ葉、ウメ果実、シルバーバイン、センブリ、シオウキョウから選ばれる植物の溶媒可溶成分の1以上を含有する、請求項1～3のいずれか1項記載の頭皮外用剤。
特許番号	特許第7023026号
発明の名称	JAK阻害剤
請求項	ワレモコウの抽出物を有効成分とするJAK1阻害剤(但し、抗炎症剤、抗搔痒剤、抗アレルギー剤の用途を除く)。 ◆ワレモコウ(ジュ) 学名はSanguisorba officinalis Lのバラ科の植物で、ジュとも呼ばれ、根や根茎を乾燥させたものは地榆(チュ)との生薬名で知られています。 (ご参考) JAK(ヤヌスキナーゼ:Janus kinase)は、チロシキナーゼの1つであり、細胞内の免疫活性化シグナル伝達に重要な役割を担い、種々の疾患の発症や増悪に関係しています。近年、医薬品分野では、JAKの酵素活性を阻害することによって疾患の発症や増悪を抑制する方法が注目されており、関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、骨髄線維症、悪性リンパ腫、痔瘻、乾癬、円形脱毛症、男性型脱毛症(AGA)の治療に向けた研究開発が行われています。本発明は、JAKが発症や増悪に関係する疾患の予防や治療に有用な、天然由来のJAK阻害剤を提供することができる点において、産業上の利用可能性を有することが期待されます。
特許番号	特許第7040833号
発明の名称	JAK阻害剤
請求項	ゲンノショウコの抽出物を有効成分とするJAK阻害剤(但し、関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、乾癬、脱毛症の予防・治療に用いる態様を除く)。 ◆ゲンノショウコ 学名はGeranium thunbergiiのフクロソウ科の植物で、地上部が止咳や整腸などを目的として用いられる薬草として知られています。

会社概要

(2022年3月31日現在)

商号	株式会社 アイビー化粧品
設立	1975年12月16日
本社	東京都港区赤坂六丁目18番3号 アイビービル
TEL	03-3568-5151(代)
代表取締役社長	白銀 浩二
資本金	13億420万円
従業員数	143名(女性:73名、男性:70名)
事業内容	化粧品(スキンケア・メイクアップ・ヘアケア・その他)、美容補助商品、化粧雑貨品等の製造及び販売

会社沿革

1975年	12月	設立
1992年	7月	埼玉県児玉郡美里町に「美里工場・開発研究所」を開設
1996年	4月	日本証券業協会に株式を公開
2001年	4月	「ISO9001」を認証取得 ^{*1}
2013年	1月	埼玉版ウーマノミクスプロジェクト「多様な働き方実践企業」認定制度において美里工場・開発研究所が最高ランクのプラチナ企業認定証を受賞
	7月	オレンジリボン運動支援を開始(子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動)
2015年	4月	「老化防止用皮膚外用剤」の特許を取得
2018年	7月	「シルクフィブロイン水溶液、及びその製造方法」の特許を取得 ^{*2}
2019年	8月	「添加剤」(黒ニンジンの搾汁液または粉末を含有する皮膚化粧料)の特許を取得
2020年	7月	「線維芽細胞の増殖促進剤」の特許を取得
2021年	1月	「皮膚外用剤」の特許を取得
	6月	第46回日本化粧品学会優秀論文賞受賞
	8月	「PDK1の活性化抑制剤」の特許を取得
	10月	スキンケアシリーズ「アイビーコスモス II」を発売
	11月	「頭皮外用剤と、活性酸素消去作用とカルボニルタンパク生成抑制作用を制御する方法」の特許を取得
2022年	2月	「JAK阻害剤」(ワレモコウ)の特許を取得 健康食品「インナークリスタル」発売
	3月	「JAK阻害剤」(ゲンノショウコ)の特許を取得
	4月	レッドパワー セラム モンドセレクション2022 金賞受賞(6年連続) ホワイトパワー セラム モンドセレクション2022 金賞受賞(5年連続)
		アイビーコスモス II エンリッチ ローション モンドセレクション2022 金賞受賞
		アイビーコスモス II WEマルション クリーム モンドセレクション2022 金賞受賞
		アイビーコスモス II ナイトリントラルガード モンドセレクション2022 最高金賞受賞
		東証スタンダード市場に株式上場
	5月	創立45周年式典を大阪にて開催

^{*1} 化粧品及び医薬部外品の設計・開発・製造及び販売に関わる部門に限る ^{*2} 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構と共同出願

役員紹介

(2022年6月29日現在)

取締役 会長	白銀 恵美子	取締役 常勤監査等委員	野本 優
代表取締役社長	白銀 浩二	社外取締役 監査等委員	中山 圭史
常務取締役	田島 正和	社外取締役 監査等委員	緒方 孝則
取締役	中山 聖仁	社外取締役 監査等委員	和田 司
取締役	江川 和憲		
取締役	白銀 佳寿子		

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告の方法 電子公告の方法により行います。

ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載 URL <https://www.ivy.co.jp/index2.html>

証券コード 4918

・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

拠点案内

本社 〒107-8463 東京都港区赤坂6-18-3 アイビービル

TEL 03-3568-5151 FAX 03-3568-5168

開発研究所 〒367-0115 埼玉県児玉郡美里町大字猪俣字金草1028-1

TEL 0495-76-4001 FAX 0495-76-4000

美里工場 〒367-0115 埼玉県児玉郡美里町大字猪俣字金草1028-1

TEL 0495-76-4011 FAX 0495-76-4328

京都推進部 〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659

烏丸中央ビル9F

TEL 075-253-5770 FAX 075-253-5772

大阪推進部 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島 NBF タワー1F

TEL 06-4796-1680 FAX 06-4796-1685

東日本事業部 〒107-8463 東京都港区赤坂6-18-3 アイビービル

TEL 03-3568-5165 FAX 03-3568-5175/03-3568-5201

関西事業部 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島 NBF タワー1F

TEL 06-4796-1681 FAX 06-4796-1682

山陰事業部 〒683-0801 鳥取県米子市新聞6-3-12

TEL 0859-37-2456 FAX 0859-37-2469

九州事業部 〒812-0023 福岡県福岡市博多区奈良屋町2-1 博多蔵本太田ビル6F

TEL 092-281-2301 FAX 092-281-2331

株式会社 アイビー化粧品

〒107-8463 東京都港区赤坂6-18-3 アイビービル

TEL 03-3568-5151(代) <https://www.ivy.co.jp>

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 16,000,000 株
発行済株式総数 5,104,000 株 (普通株式)
500,000 株 (A種優先株式)

1単元の株式の数 100 株

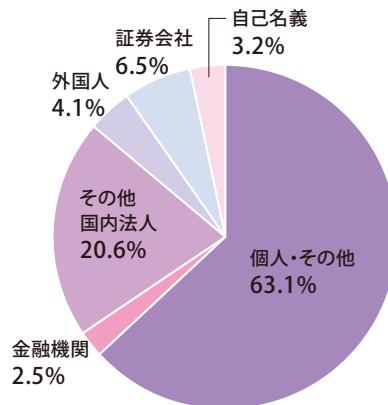
総株主数 4,558名

大株主の状況 (上位10名)

株主名(上位10名)	持株数(100株)	議決権比率(%)
(株)白銀社	6,624	13.4%
(株)ブリーズ	2,300	4.6%
アイビー化粧品取引先持株会	1,864	3.7%
安藤 英基	1,472	2.9%
白銀 浩二	1,302	2.6%
白銀 恵美子	1,301	2.6%
安藤 英雄	1,240	2.5%
JPモルガン証券(信託口)	968	1.9%
(株)日本カストディ銀行(信託口)	948	1.9%
越智 通武	935	1.9%

(注) 上記のほか、自己株式が160,598株あります。
所有株式数には、A種優先株式500,000株を除き、普通株式のみ記載しております。
株式所有割合は、総株主の議決権に対する所有議決権数の割合です。

所有者別株式分布状況



アイビー化粧品
公式ホームページ



販売会社・販売店のご案内

